MITSUBISHI

三菱液晶ディスプレイ

Diamondcrysta WIDE

RDT201WLM シリーズ

(AE755)

取扱説明書



■ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
■ 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
■ 保証書は大切に保管してください。
■ 必ず、転倒・落下防止処置を実施してください。(5,32頁参照)
■ この取扱説明文書内のURLはクリックするとWebサイトへリンクします。

インターネットホームページ:www.MitsubishiElectric.co.jp/display

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

製品登録のご案内

三菱電機では、Webサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内

ご注意:法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。
ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ホームページからお申し込みください。(画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。)

www.pc-eco.jp

もくじ　ページ

ご使用の前に

何ができるの？

省エネ効果を知りたい

■ ECO Professional機能 (ECO PROF.) *(→P20, P22)*

ECO設定にて使用時の消費電力を最大約10W節電できるほか、ECOメーターで現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示できるなど、省エネに配慮した設定をすることができます。

フレシキブルな設置対応

■ 壁寄せ設置機能 *(→P10)*

前後分割可能なベーススタンドの採用により、後部ベースを取り外すことで壁に寄せる設置ができ、机を広く使うことができます。

明るさや色の調節をしたい

■ OSD機能 (On Screen Display) *(→P18〜P23)*

画面の明るさ、表示位置やサイズの調節、カラー設定、ECO PROF.機能設定などをOSD画面により調節することができます。
OSD機能そのものに関する操作（OSD表示時間、操作ロックなど）もできます。

ステレオスピーカー内蔵

■ ヘッドホン端子も装備 *(→P13)*

2台のコンピューターをひとつのディスプレイで切り替え表示

■ 2系統入力 *(→P12)*

2台のコンピューターを本機につなぎ、コンピューターの画面を切り替えて表示させることができます。

本機は、デジタルとアナログ両方の信号を受けて画像を表示することができます。接続に際しての詳細は「接続方法について」*(→P11)*に記載してあります

接続方法	コンピューターの機種	コンピューターの出力端子	画面の自動調節
デジタル接続	Windows® シリーズ※1 Macintoshシリーズ※2	DVI-D端子またはDVI-I端子	不要（つなぐだけでご使用になれます）
アナログ接続	Windows® シリーズ※1 Macintoshシリーズ※2	ミニD-SUB15ピン端子、DVI-I端子※3またはD-SUB15ピン端子	要 *(→P17)*
2系統入力	Windows® シリーズ※1 Macintoshシリーズ※2	デジタル出力端子とアナログ出力端子を併用します。	要（アナログ接続のみ）*(→P17)*

※1 Windows® をご使用の方は、セットアップ情報をインストールすることをお奨めいたします。*(→P16)*
※2 Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルにより出力端子が異なります。変換アダプター（市販）が必要となる場合があります。詳しくは「接続方法について」*(→P11)* をご覧ください。
※3 DVI-I端子によるアナログ接続には、変換アダプター（市販）等が必要となります。詳しくは「接続方法について」*(→P11)*をご覧ください。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

セットアップガイド	電源コード	オーディオケーブル	信号ケーブル	
ベーススタンド	ブロックネック（高さ調節用　1個）	保証書（梱包箱に貼り付けてあります。）	ミニD-SUB15ピン－ミニD-SUB15ピン（アナログ接続用）	DVI-D－DVI-Dケーブル（デジタル接続用）

お知らせ

液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。これは故障ではありません。本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

※ 有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、弊社で保証する表示可能なドット抜けの割合を示しています。「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixcel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(subpixcel)」となります。つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

本書の見かた

本書の表記のしかた

お願い：取扱い上、特に守っていただきたい内容

お知らせ：取扱い上、参考にしていただきたい内容

(→PXX)：参考にしていただきたいページ

Win Mac：Windows®とMacintosh両方に関わる内容

Win：Windows®のみに関わる内容

Mac：Macintoshのみに関わる内容

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」*(→P2)*

説明の内容から探す→「本書の構成と分類」*(→P3)*

言葉と意味で探す→「用語解説」*(→P33)*

もくじで探す→「もくじ」*(→表紙)*

さくいんで探す→「さくいん」*(→P38)*

本書の構成と分類

本書では、本機を安全かつ快適にお使いいただくために、以下のように説明を分類しています。

ご使用の前に *(→P2)*
ご使用のコンピューターと本機の接続方法によって、お客様が必要となる説明がどこに記載されているのかを把握していただくための説明です。

安全のために必ず守ること *(→P4)*
万が一の事故を回避するための使用方法に関する注意事項です。

各部の名称 *(→P7)*
後に続く「接続」や「画面設定」などの説明に際して、本機の各部の名称とその位置を把握いただくための説明です。

接続 *(→P11)*
ご使用のコンピューターと本機を接続して使用するまでに必要な手順を説明しています。

画面調節（OSD機能） *(→P18)*
画面の調節やOSD機能の設定をする際の手順や各機能について説明しています。

その他の機能 *(→P25)*
本機に装備された機能で、OSD機能以外の機能についての説明をしています。

困ったとき *(→P26)*
故障の疑いがあるなど、困ったときの対処方法などを説明しています。

付録 *(→P31)*
用語の解説、さくいんなどを掲載しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。

本製品はスウェーデンの労働団体TCOにより定められた、低周波電磁界、エルゴノミクス、省エネルギー、環境保護に対する規格であるTCO'03に適合しています。



本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準（2008年度版）を満たしています。
詳細は、Webサイト：www.pc3r.jp をご覧ください。



本製品は「J-Mossグリーンマーク・ガイドライン」に基づくJ-Mossグリーンマークを表示しています。
「J-Moss(JIS C 0950)」に基づく特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況についての情報を公開しています。
詳細は、ウエブサイト：www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
形名：　RDT201WLM / RDT201WLM(BK)

安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。		必ず指示に従いおこなってください。
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。		必ずアースリード線を接地（アース）してください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		高圧注意（本体後面に表示）

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

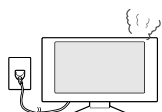
⚠警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



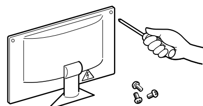
故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない





火災・感電の原因になります。

裏ぶたをはずさない

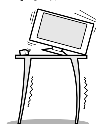






内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。

傾斜面や不安定な場所に置かない





落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

電源コードを傷つけない





重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。

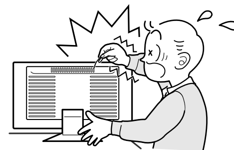
キャビネットを破損したときは使わない





火災・感電の原因になります。

異物をいれない
特にお子さまにご注意





火災・感電の原因になります。

アース線を接続する



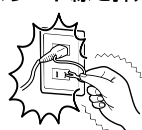
アース線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。
アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

風呂場や水のかかるところに置かない



水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。

アースリード線を挿入・接触しない





電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。

⚠警告

正しい電源電圧で使用する



指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。
一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
本機に添付している電源コードは本機専用です。
安全のため他の機器には使用できません。

修理・改造をしない



修理・改造禁止

けが・火災・感電の原因になります。

ポリ袋で遊ばない



禁止

特にお子さまにご注意
本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない



接触禁止

感電の原因になります。

液晶を口にしない



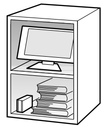
警告

液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。
万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。
手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。

⚠注意

設置のときは次のことをお守りください。
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。
地震などでの製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなってください。

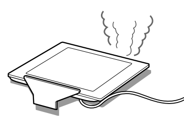
狭い所に置かない





設置禁止

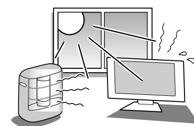
あお向けや横倒し、さかさまにしない





禁止

直射日光や熱器具のそばに置かない





設置禁止

布などで通風孔をふさがない





禁止

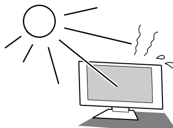
車載用禁止

車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。



禁止

屋外での使用禁止

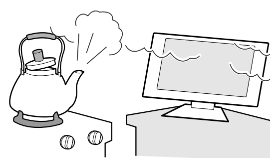




屋外での使用禁止

本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用すると故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない

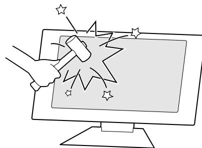




設置禁止

液晶パネルに衝撃を加えない

破損してけがや故障の原因になります。

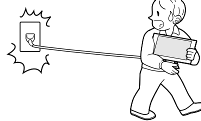




禁止

接続線をつけたまま移動しない

火災・感電の原因になります。
電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認の上、移動してください。

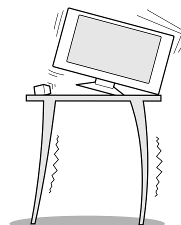




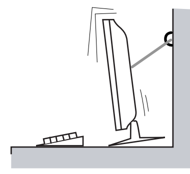
禁止

転倒・落下防止対策をおこなう。

転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、全ての地震に対しての効果を保証するものではありません。



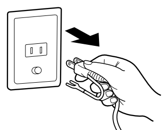
設置台を補強する



丈夫なロープで製品を壁とつなぐ

電源プラグを持って抜く

コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。

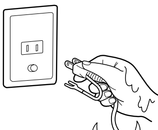




プラグを持つ

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



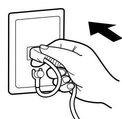


ぬれ手禁止

⚠注意

電源プラグを奥までさしこむ

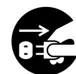
しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。




しっかり差し込む

お手入れの際は電源プラグを抜く

感電の原因になります。
During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.


プラグを抜く

スタンドに手を挟まない

角度調節時、取り付け、取り外し時に手を挟むとけがの原因になります。


手の挟みこみに注意

液晶ディスプレイを廃棄する場合

液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。*(→P29：本機を廃棄するには)*
環境や健康に悪影響をあたえる原因になります。

１年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。
内部掃除は販売店にご依頼ください。




内部掃除

長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。




プラグを抜く

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

火災の原因になります。
1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。




ほこりを取る

液晶ディスプレイの上手な使い方

長時間同じ画面を表示しない

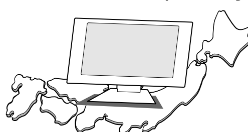
長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ること（残像）がありますが故障ではありません。画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることをおすすめします。


長時間同じ画面を表示しない

日本国内専用です

この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

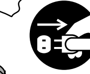

国内専用



キャビネットのお手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。




プラグを抜く

キャビネットを傷めないために

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。（化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。）また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
キャビネットが変色したり、変質するなどの原因となります。




使用禁止

液晶パネルのお手入れ

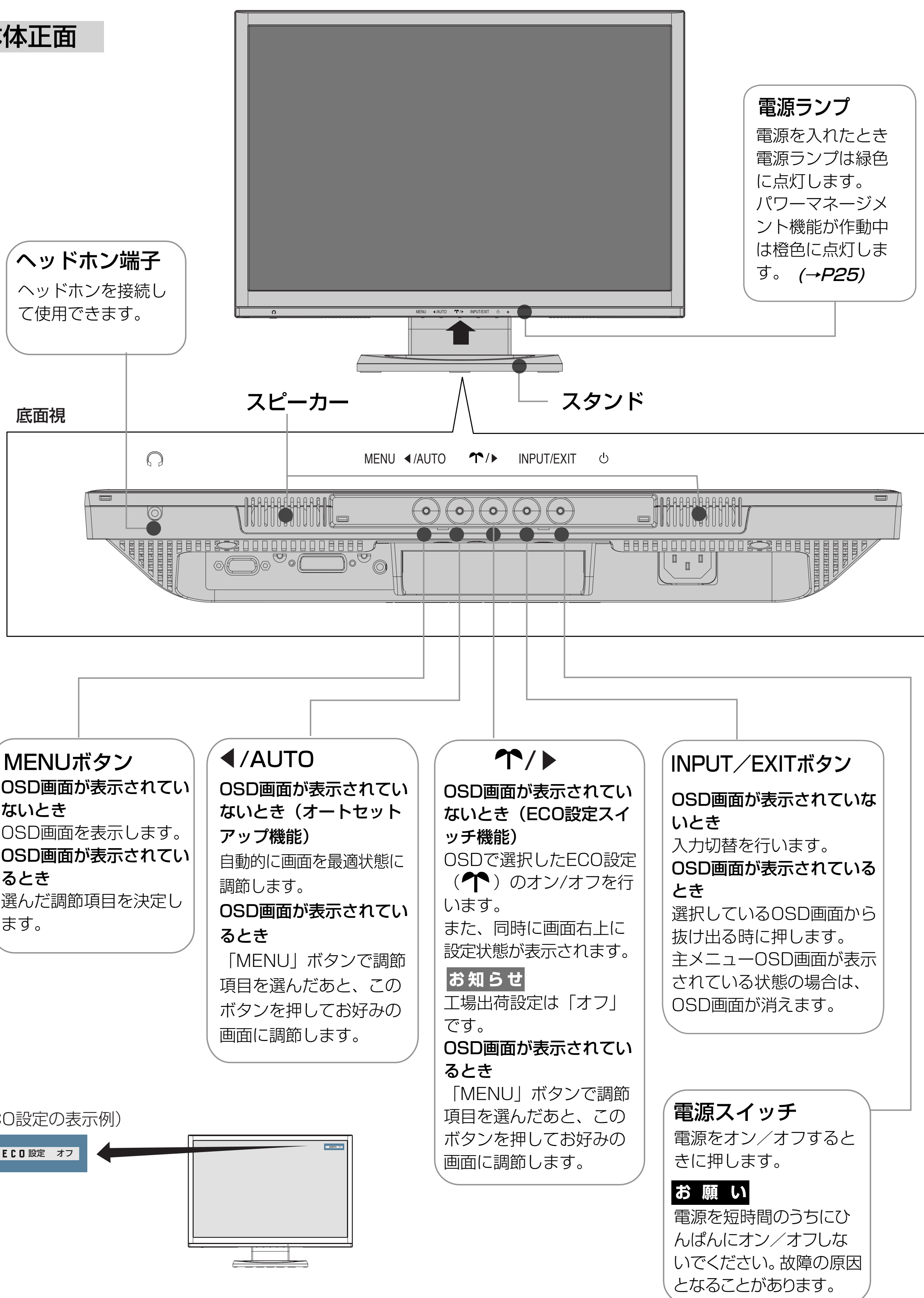
パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押したりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようにご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。
溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。（水、エタノール、イソプロピルアルコール）
推奨以外の溶剤（酸、アルカリ、アセトン等）は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると製品を破壊する恐れがありますのでご注意ください。



上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40〜70cmはなれたぐらいが見やすくて目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。
また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

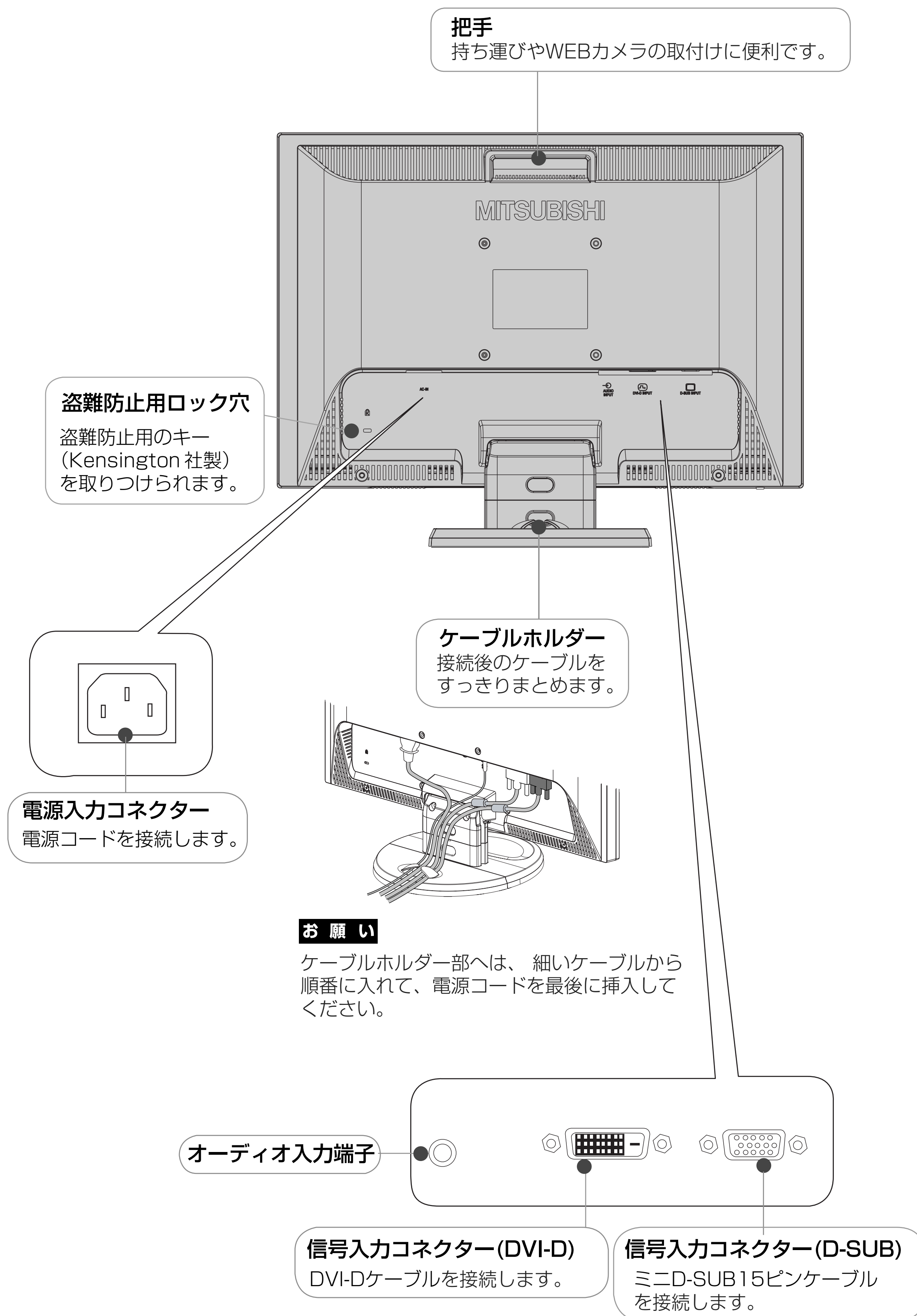
各部の名称



お知らせ

- 各ボタンによる詳しいOSD画面の操作については「OSD画面の基本操作」*(→P18)* をご覧ください。
- 「AUTO」ボタンと「」ボタンはOSD画面が表示されていない場合でも、機能するホットキーです。
- 「AUTO」ボタンのオートセットアップ機能は、アナログ入力信号（ミニD-SUB15ピン)のみ有効です。

本体背面

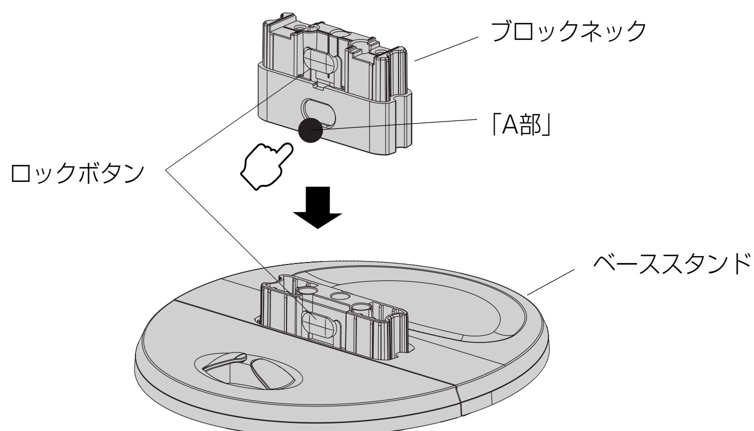

把手
持ち運びやWEBカメラの取付けに便利です。
MITSUBISHI
盗難防止用ロック穴
盗難防止用のキー（Kensington 社製）を取りつけられます。
電源入力コネクター
電源コードを接続します。
ケーブルホルダー
接続後のケーブルをすっきりまとめます。
お願い
ケーブルホルダー部へは、 細いケーブルから順番に入れて、電源コードを最後に挿入してください。
オーディオ入力端子
信号入力コネクター(DVI-D)
DVI-Dケーブルを接続します。
信号入力コネクター(D-SUB)
ミニD-SUB15ピンケーブルを接続します。

設置

スタンドの組立ておよび取付け

手順1

付属のベーススタンドにブロックネックを取付けます。
ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。

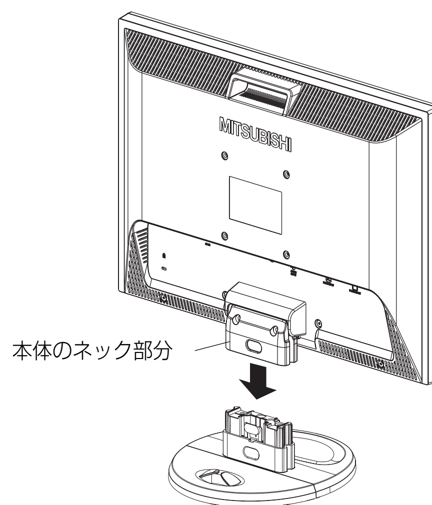


お知らせ

ブロックネックをベーススタンドへ差し込む時、ベーススタンドのロックボタンを軽く押すと挿入が容易になります。
ベースの溝に入りにくい場合は、A部を押してください。

手順2

図のように水平な机の上に、「手順1」で組み立てたスタンドを置いてください。
本体に装着されているネック部分とベーススタンドに装着されているのブロックネックの凹凸部を重ね合わせて、ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。



⚠注意

ベーススタンドとブロックネックが確実に接合されていないと、本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。
取り付けた際に、ベーススタンドとブロックネックのロックボタンが正常にかみ合っていることを再確認してください。
スタンドを組立てる際に、指をはさまないように注意してください。

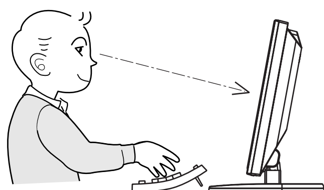
語句説明

スタンドとは、付属のベーススタンドとブロックネックおよび本体のネック部分を全て組立てた状態を示します。

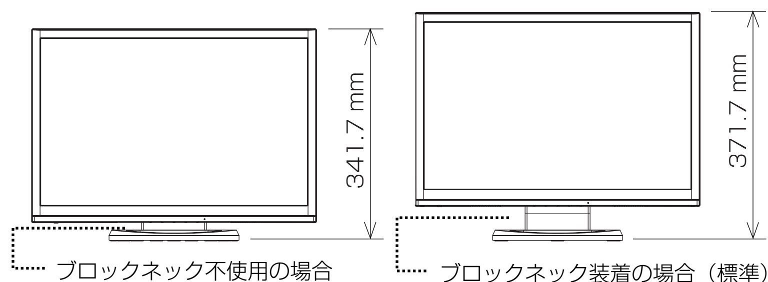
本機は、付属の分割式ベーススタンドとブロックネックの組み合わせ次第で、お好みに応じた様々な設置スタイルに対応します。

高さ調節

視線を下げる設置状態は、人間工学的に目が疲れ難いと言われております。
付属のブロックネックを使わないことによって、画面の高さを下げることができます。

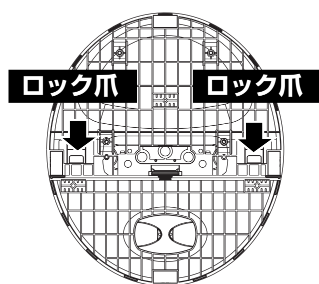


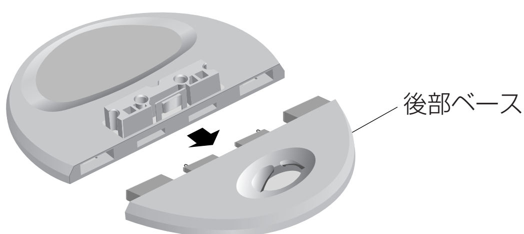
画面高さ位置が、30mm低くなります。



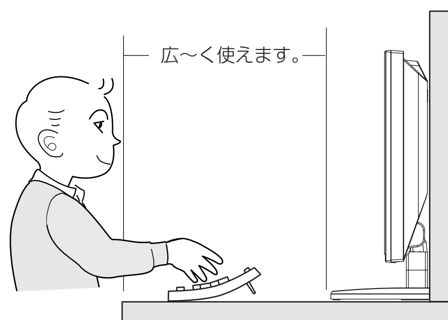
壁寄せ設置

付属のベーススタンドは前後を分割できます。
標準仕様のまま使用する以外に、後部ベースを取外すことで壁に寄せて設置することができます。
机の奥行きが狭い場合は、キーボードなどで狭くなった机を広く使用することができます。





ロック爪を押してロックを解除します。
その後、前後に引張って分離します。
取外した後部ベースは、大切に保管ください。



壁寄せ設置時

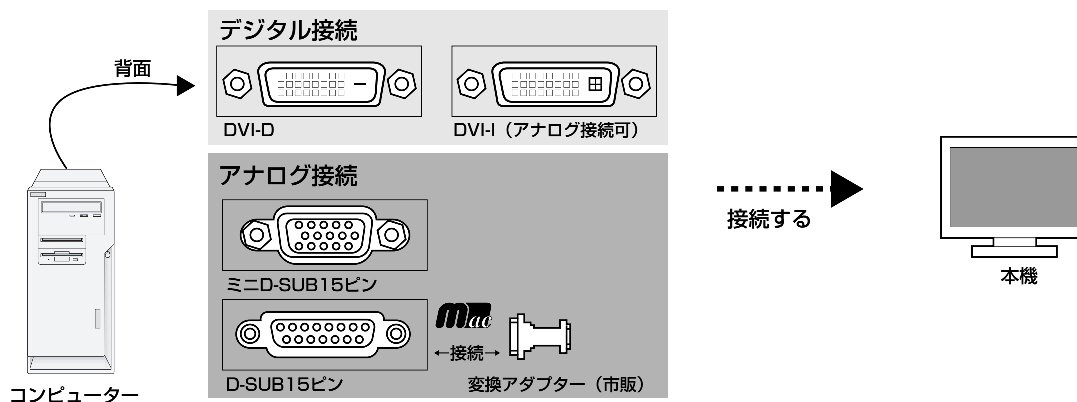
⚠注意

後部ベースを外した場合、本機を壁から離さないでください。
転倒する恐れがあります。けがや破損の原因になります。
壁から離して使用する時は、後部ベースを必ず取付けてください。
また、地震時の時などでも安全にお使いいただくために、本体背面のVESA穴を利用して丈夫な紐で壁とつなぐなどの対策を施して転倒や落下しないようにしてください。

接続

接続方法について

本機の信号入力コネクターは、アナログ信号（ミニD-SUB15ピン）とデジタル信号（DVI-D）に対応しています。
また、2台のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り替えて使うことができます。
ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクターに接続してください。
それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



接続コネクターと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 / コンピューター側	DVI-D（デジタル）	ミニD-SUB15ピン（アナログ）
DVI-I（アナログ接続／デジタル接続）	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続	DVI-A—ミニD-SUB15ピンケーブル（市販）で接続（アナログ接続）またはミニD-SUB15ピン—ミニDSUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）
DVI-D（デジタル接続）	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続	接続できません
ミニD-SUB15ピン（アナログ接続）（3列）	接続できません。	ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続
D-SUB15ピン（アナログ接続）（2列） Mac	接続できません。	ミニD-SUB15ピン—ミニDSUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）

DVI-I : デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。どちらかの入力を接続するケーブルによって使い分けが可能
DVI-D : デジタル入力のみに対応しているDVI端子
DVI-A : アナログ入力のみに対応しているDVI端子

接置・接続・設定

接続する

お願い

● 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

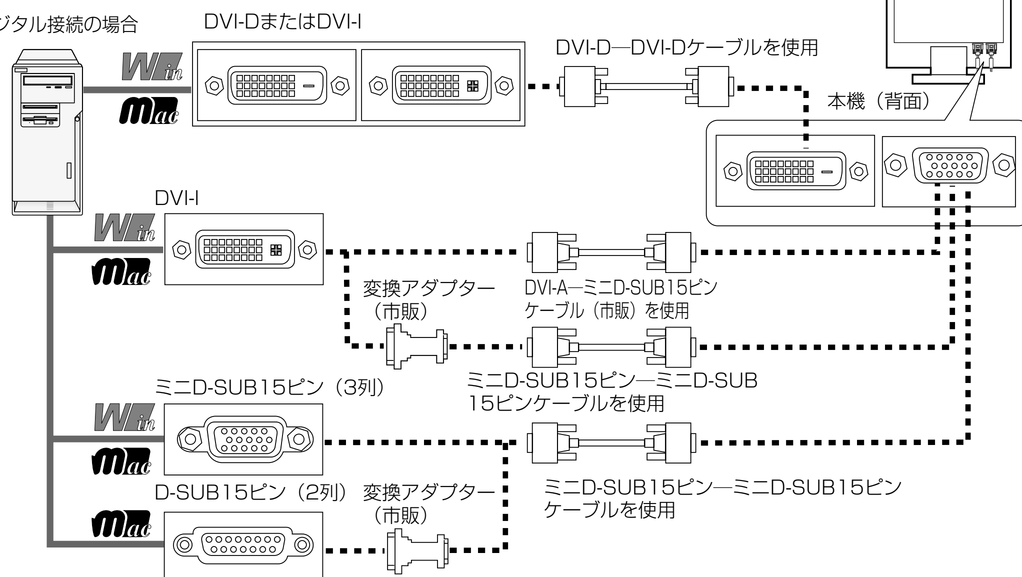
お知らせ

● 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。

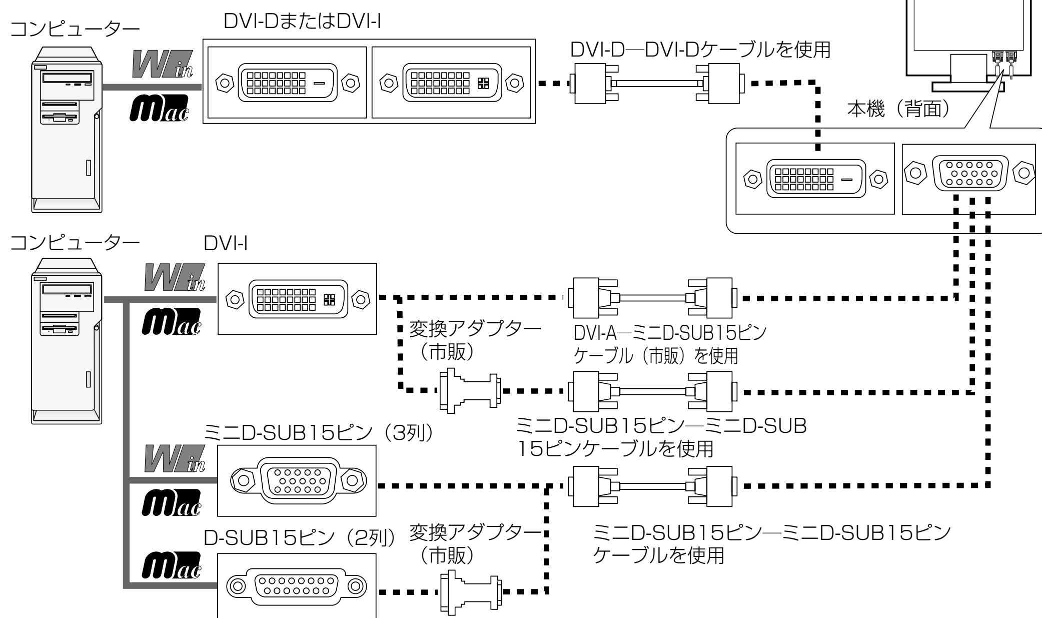
1 信号ケーブルを接続する

信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

1台のコンピューターをつなぐ場合

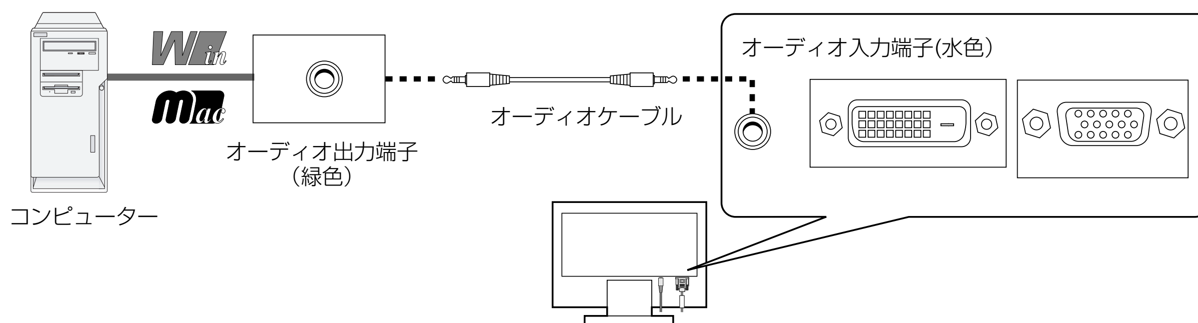


2台のコンピューターをつなぐ場合（2系統入力）



※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクターが異なります。
※ デジタル接続のみで2台のコンピューターを接続することはできません。
※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。
※ DVI-D端子、D-SUB端子はAV機器接続には対応していません。

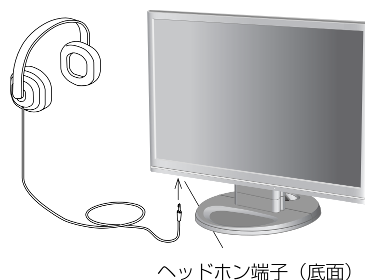
2 オーディオケーブルを接続する



ヘッドホンの接続

⚠ 注意

- **ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。音量によっては耳を傷める原因となります。**
- **ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。**



お知らせ

● 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、オーディオショップなどで「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ（市販）をご使用ください。

● ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音が消えます。

接置・接続・設定

3 電源を接続する

お 願 い

● コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0A以上必要です。）

1 **電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに差し込む**

奥までしっかりと差し込んでください。

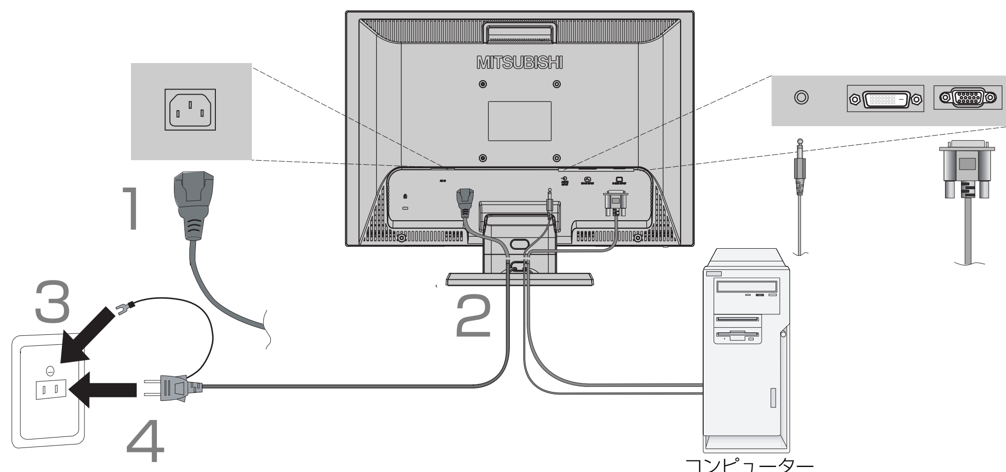
2 **電源コードと信号ケーブルとオーディオケーブルをケーブルホルダーでまとめる。**

お 願 い

●本機の角度を調整し *(→P15)* 、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。

3 **アースリード線を接地（アース接続）する**

4 **電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する**



お 願 い

●電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

⚠警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外（最大AC240V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- 電源プラグのアースリード線は必ず接地（アース）してください。なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

5 **本機およびコンピューターの電源を入れる**

4 調節をおこなう

1 画面の調節をおこなう

■ デジタル接続の場合

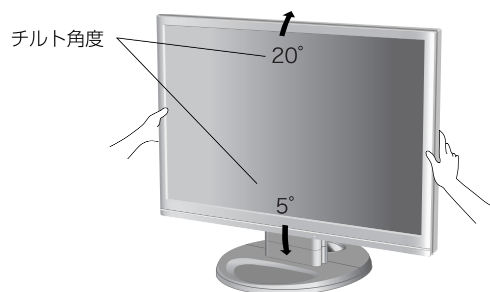
自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

■ アナログ接続の場合

「オートセットアップをする（アナログ接続の場合のみ）」*(→P17)*の手順にしたがって画面を調節をしてください。オートセットアップをおこなってもうまく表示されない場合は「画面調節（OSD機能）」*(→P18)* をご覧ください。

2 角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。
右図のように見やすい角度に調節します。



液晶画面を押さないようにしてください。

⚠ 注意

**角度調節時に、手を挟まないように気を付けてください。
けがの原因となることがあります。**

Windows® セットアップ情報とテストパターンについて

Windows® セットアップ情報

Windows® 95/98/Me/2000/XP, Windows Vista® 用の設定ファイル情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

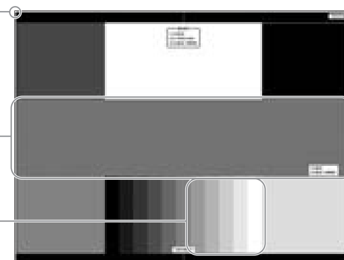
テストパターン

テストパターンは上記の当社ホームページからダウンロードしてください。
このテストパターンはアナログ接続をした場合の画面調節の際に使用します。
ご使用方法については、ダウンロードした README をご覧ください。

画面調節メニューの左／右または下／上の項目で調節をおこない、白い枠が完全に見えるようにする。(→P19)

画面調節メニューの水平サイズまたは位相の項目で調節をおこない、白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。(→P19)

ブライトネス・コントラストメニューのコントラストで調節をおこない、白の階調差が見えるようにする。(→P19)



テストパターン表示画面

オートセットアップ（アナログ接続の場合）

本機をコンピューターとアナログ接続したときは、最初にオートセットアップをおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。 *(→P18～23)*

お知らせ

- オートセットアップは適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD画面の基本操作」*(→P18)* をご覧ください。

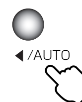
1 **本機およびコンピューターの電源を入れる**

2 **画面全体にテストパターン** *(→P16)* **またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する**

3 **オートセットアップをおこなう（2通りの方法があります。）**

【ワンタッチ操作】

OSD画面が表示されていない時、「AUTO」ボタンを押すと、「コントラスト」「左右位置」「上下位置」「水平サイズ」「位相」の自動調節が実行されます。



【OSD操作】

① 「MENU」ボタンを押してOSD画面を呼び出す。

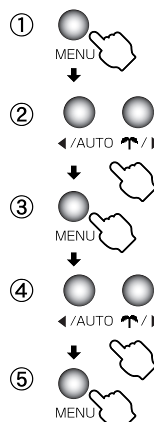
② 「◀」「▶」ボタンで「オートセットアップ」にカーソルを移動する。

③「MENU」ボタンを押して決定する。

④「オートセットアップ」の選択画面に変ったら「◀」「▶」ボタンで「する」を選択する。

⑤「MENU」ボタンを押して決定する。

⑥「コントラスト」「左右位置」「上下位置」「水平サイズ」「位相」の自動調節が実行されます。





メニュー選択画面



オートセットアップ選択画面

お知らせ

自動調節中は、「オートセットアップ実行中」のOSD画面が表示されます。



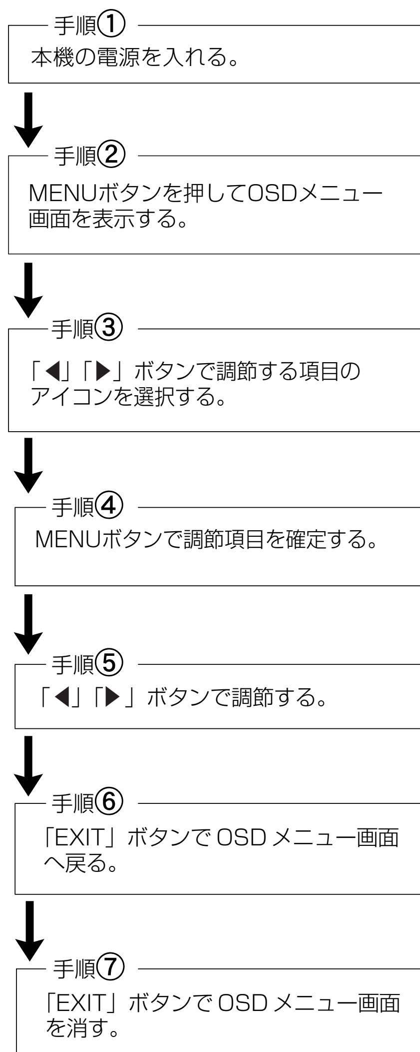
お願い

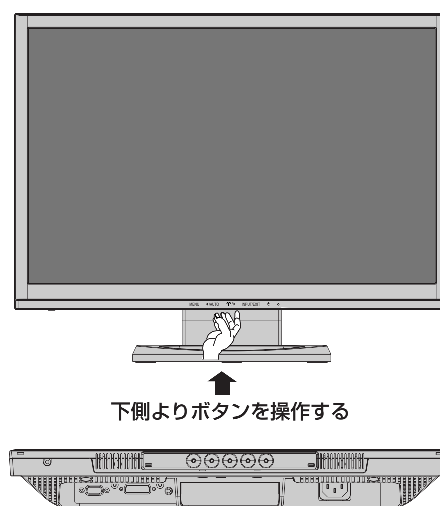
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。また、DOSプロンプトのように白い部分が極端に少ない画像の場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。
この場合は、画面調節 *(→P19)* でお好みの画面に調節してください。

OSD画面の基本操作

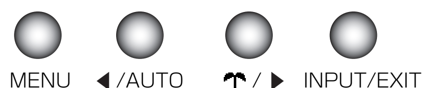
本機にはOSD（On Screen Display）機能がついています。OSD画面を操作することにより、画面の調節ができます。

OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。





下側よりボタンを操作する



OSD操作ボタン

MENU　◀ /AUTO　↑ / ▶　INPUT/EXIT

OSDメニュー画面

OSD呼出し時の初期メニュー画面は、左上の音量調整を選択しています。
「◀」「▶」ボタンで調節したい項目にカーソルを合わせ、「MENU」ボタンで選択すると調節 OSD 画面へ切り替ります。
（アイコンの色が黄色になります。）



メニュー画面（例）



調節 OSD 画面（例）

お知らせ

- OSD画面には下部に操作方法を示したキーガイドを表示しています。
- OSD画面が表示された後、操作が行われない場合は、OSD表示時間で設定された時間が経過すると自動的に消えます。

OSD機能一覧

アイコン	内　容
音量　消音中	スピーカーの音量を調節します。 「MENU」ボタンを押すと、ミュート（消音）状態になります。 もう一度「MENU」ボタンを押すと、ミュート（消音）状態は解除されます。
ブライトネス	画面の明るさを調節します。
コントラスト	コントラストを調節します。
AUTO オートセットアップ	「コントラスト」「左右位置」「上下位置」「水平サイズ」「位相」を自動調節します。（アナログ接続の場合のみ）
画面調節	画面調節アイコンを選択すると、下記のアイコンメニュー画面に切り替わります。（アナログ接続の場合のみ）

画面調節アイコン	内　容
左／右	左右方向の表示位置を調節します。
下／上	上下方向の表示位置を調節します。
水平サイズ	画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。
位相	画面に横方向のノイズが表示されるときに調節します。 また、文字がにじんだり、輪郭がはっきりしないときにも使用します。
EXIT	OSDメニューの画面調節アイコンに戻ります。

アイコン	内　容
COLOR	COLORアイコンを選択すると、下記のメニュー画面に切り替わります。

COLORアイコン	内　容
USER	お好みの色に「R」「G」「B」を調節できます。 「MENU」ボタンを押すと、「R」が調節できる状態になり、もう一度「MENU」ボタンを押すと、「G」が調節できる状態になり、もう一度「MENU」ボタンを押すと、「B」が調節できる状態になります。 R　:赤色を調節 G　:緑色を調節 B　:青色を調節
9300	色温度:9300K色で表示します。
sRGB	sRGB規格の色で表示します。
5000	色温度:5000K色で表示します。

アイコン	内　容
BLK ブラックレベル	黒レベルを調節します。 画面の暗い部分に注目して調節をおこなってください。
画面サイズ	表示画面サイズを選択する機能です。 *(→P23)* フル:画面全体に表示します。 アスペクト:縦横比率を変えずに画面拡大します。 お知らせ　● ワイドフォーマットのPC入力時は、選択できません。

OSD機能一覧

アイコン		内　容
S⇔S シャープネス		文字や画像のキレを調節します。
AUTO INPUT 入力自動切換		信号が入力されているコネクタを自動的に選択する機能です。 「しない」「する」を選択できます。 **お知らせ** 選択されているコネクタは、OSD画面のMONITOR INFO.で確認ができます。
ECO ECO PROF.		ECO PROF.アイコンを選択すると、下記のアイコンメニュー画面に切り替わります。 *(→P22)*
	ECO PROF.項目アイコン	内　容
	ECO設定	「大」「中」「小」の中からお好みのモードを選択できます。 **お知らせ** ● 工場出荷設定は、「中」です。 ● 設定を有効にするには、ECO設定( )スイッチ *(→P7)* を「オン」にしてください。
	ECOメーター表示	ECOメーターの透過率を調節します。 表示させない場合は、オフ:0%に設定してください。 **お知らせ** ● 工場出荷設定は、「オフ：0%」です。
	省エネ電力量	省エネ効果の確認用として、累積省エネ電力量と省エネ率をOSD画面上に表示します。 **お知らせ** ● 省エネ電力量と省エネ率をリセットする場合は、「MENU」ボタンを押して「◀」「▶」で「する」を選択し、再度「MENU」ボタンを押すと表示値は、「000.00kWh」と「0%」に戻ります。 ● 5年以上経過すると、省エネ電力量と省エネ率の表示色は赤色になり積算が停止する場合があります。 積算の上限に達していますので、表示値をリセットしてください。 ● 工場出荷時に省エネ電力量と省エネ率が「0」でない場合があります。 「0」でない場合は、リセットされることをお奨めします。
	OFF 電源自動オフ	本機のパワーマネージメント機能動作後、およそ30分で電源を自動的にオフすることができます。 「しない」「する」を設定できます。 **お知らせ** ●本機能動作後は、電源オフされるため、再度ご使用される場合は、電源ボタンを押して本機の電源をオンにしてください。
	EXIT EXIT	OSD選択メニュー画面のECO PROF.アイコンに戻ります。
OSD表示位置		OSD表示位置アイコンを選択すると、下記のアイコンメニュー画面に切り換わります。
	OSD表示位置アイコン	内　容
	水平表示位置	左右位置を調節します。
	垂直表示位置	上下位置を調節します。

OSD機能一覧

アイコン	内　容
OSD表示時間	OSDの表示時間（10～120秒）を調節します。
操作ロック	誤って調節してしまうことを防ぐためのOSDメニュー操作禁止を設定、解除できます。*（→P23）* **お知らせ** 「MENU」ボタンで「操作ロック」表示し、「/ ▶」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、OSDメニュー操作はロックされます。OSDロック状態でも、音量、消音、ブライトネス、コントラストの調節はできます。 「操作ロック」アイコンを選択し、「/ ▶」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、操作ロックが解除されます。
言語切換	OSD画面の表示言語を切り替えることができます。 「日本語」「ENGLISH」のお好みの言語を選択してください。
DDC/CI DDC/CI	DDC/CI通信機能の「しない」「する」を選択します。 **お知らせ** ●「しない」の場合、外部からの制御ができなくなります。 ●工場出荷設定は「する」です。
MONITOR INFO.	MONTOR INFO.アイコンを選択すると、MODEL（形名）とSERIAL NUMBER（製造番号）および、入力信号のコネクター、周波数、解像度を表示します。
オールリセット	音量、ブライトネス、コントラスト、画面調節、COLOR、ブラックレベル、画面サイズ、シャープネス、入力自動切換、ECO PROF.、OSD表示位置、OSD表示時間、DDC/CIの設定を出荷時の状態に戻します。 **お知らせ** ● ECO PROF.の省エネ電力量と省エネ率の値はリセットされません。 リセットしたい時は、省エネ電力量メニュー*（→P20）*で行ってください。
EXIT EXIT	OSD画面を消します。



主なOSD機能

ECO PROF.（ECO Professional機能）

ECO Professional機能とは省エネに配慮した以下の機能の総称です。

■ ECO 設定（ ）

「大」「中」「小」の3タイプの設定をすることができます。

大: 画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約10W（*）削減します。
中: 画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約8W（*）削減します。
小: 消費電力を一律約3W削減します。



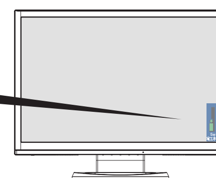
ECO設定画面

お知らせ

- 前面のECO設定（ ）ボタンの1タッチ操作で、ECO設定の「オン」「オフ」ができます。
- 「オン」時には、画面の明るさが低減します。
- （*）マーク説明：
  画面全体の平均輝度が75%以上の状態においてECO設定「OFF」にした状態との比較値です。（当社測定結果による）

（表示例）





■ ECO メーター（ ）

現在の省エネ電力値を画面の右下にリアルタイムに表示します。
また、ECOメーターの透過率をお好みに応じて調節することができます。

お知らせ

- 省エネ電力値：ECO設定を使用する。または、画面の明るさ（ブライトネス）を暗くした時に得られる電力削減値です。
- 「◀」で「オフ:0%」位置まで動かすと完全透明になり、非表示状態になります。



ECOメーター表示調節画面

■ 省エネ電力量（ ）

省エネ電力量と省エネ率をOSD画面で確認することができます。

省エネ電力量：ご使用を始めてから（またはリセットした時点）現在までに得られた省エネ電力を積算した値とコンピュータで設定したパワーマネージメント機能にて得られた電力削減を積算した値の合算を「＊＊＊.＊＊kWh」で 表示します。なお、本機の電源スイッチオフの時間は含まれません。

省エネ率　　：省エネ電力量の削減効果を「＊%」で表示します。



省エネ電力量表示画面

■ 電源自動オフ（ ）

本機のパワーマネージメント機能動作後、およそ30分で電源を自動的にオフすることができます。
電源スイッチの切り忘れ対策になります。



電源自動オフ設定画面

お知らせ

- 本機能動作後は、電源がオフになるため再度ご使用される場合は、電源ボタンを押して本機の電源をオンにしてください。

主なOSD機能

画面サイズ

表示画面サイズを選択する機能です。

フル　　　:画面全体に表示します。
アスペクト :縦横比率を変えずに画面拡大します。

● ワイドフォーマットのPC入力時は、選択できません。
メニュー選択はスキップします。



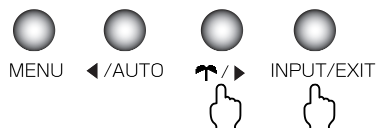
画面サイズ選択画面

お知らせ

一部の解像度では画面全域に拡大されません。
入力信号によっては、表示画面がたてまたは横方向に十分拡大されないことがあります。

操作ロック

誤って調節してしまうことを防ぐためのOSDメニュー操作禁止を設定、解除できます。
「MENU」ボタンで「操作ロック」選択し、「/ ▶」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、OSDメニュー操作はロックされます。
OSDロック状態でも、音量/消音、ブライトネス、コントラストの調節はできます。
「◀」「▶」ボタンで調整するアイコンを選択します。
「EXIT」アイコンを選択すると、OSD選択メニュー画面が消えます。



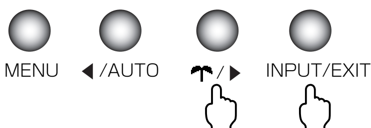


操作ロック画面

お知らせ

操作ロックを設定しても電源オン/オフボタンを含み全ての操作ボタン *(→P7)* は動作します。

ロック解除



「MENU」ボタンを押して「操作ロック」OSD画面を表示した後、「/ ▶」と「INPUT/　EXIT」ボタンを同時に押すと、操作ロックが解除され、通常のOSDメニュー画面に切り替わります。



操作ロック解除画面

OSD機能による画面の調節が必要となる場合

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。アナログ接続の場合は、オートセットアップ（→ P17）をおこなってください。

＜工場プリセットPCタイミング＞

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	35.0kHz	66.7Hz	Macintosh
832 × 624	49.7kHz	74.5Hz	Macintosh
720 × 350	31.5kHz	70.1Hz	
720 × 400	31.5kHz	70.1Hz	
640 × 480	31.5kHz	60.0Hz	
640 × 480	37.9kHz	72.8Hz	
640 × 480	37.5kHz	75.0Hz	
800 × 600	35.2kHz	56.3Hz	
800 × 600	37.9kHz	60.3Hz	
800 × 600	48.1kHz	72.2Hz	
800 × 600	46.9kHz	75.0Hz	
1024 × 768	48.4kHz	60.0Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70.1Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75.0Hz	
1152 × 864	67.5kHz	75.0Hz	
1152 × 870	68.7kHz	75.0Hz	Macintosh
1280 × 960	60.0kHz	60.0Hz	
1280 × 960	74.8kHz	75.0Hz	Macintosh
1280 × 1024	64.0kHz	60.0Hz	
1280 × 1024	80.0kHz	75.0Hz	
1440 × 900	55.9kHz	60.0Hz	
1680 × 1050	65.3kHz	60.0Hz	推奨信号タイミング

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。
  記憶させたい信号を入力し、オートセットアップ（→ P17）するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると全てのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31.0～82.3kHz、垂直周波数56～76Hz対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。
  この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はコンピュータからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。

お知らせ

- 本機は解像度1680×1050以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

拡大・スムージングファイン機能

1680×1050より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

● 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

お知らせ

● 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。

Plug&Play機能

VESAのDDC（Display Data Channel）2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能（NTAA: No Touch Auto Adjust)

(800×600以上の解像度のみ)

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「自動調節実行中」の文字が表示されます。



NTAA実行中画面

お知らせ

● アナログ入力信号（ミニD-SUBピン）のみ有効です。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

● この機能はVESA DPM対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	30W	緑色点灯
スリープモード時	2W以下	橙色点灯

水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

● キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P30
	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P7
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P14
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	電源ランプが緑色に点灯している場合	「MENU」ボタンを押してOSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P18
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P30
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P19
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P12, 24
	電源ランプが橙色に点灯している場合	パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P25
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P12
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P12
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	
突然画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合※	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P30

※ 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。

表示がおかしいときは…

症　状	原因と対処	参照
画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P2
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
線の太さなどがぼやける	推奨タイミング以外の解像度の画像を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。	P24
表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P6, 34
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色相の変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P15 P34, 35
画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは蛍光灯を使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので故障ではありません。電源を切るか変化する画面を表示していれば像は徐々に薄れていきます。	P6, 34
表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P18
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P30
	● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「カラー調節」を選択しお好みで色の割合を調節してください。	P19
	● OSD 画面が正常に表示され、「カラー調節」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P12, 24
画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P12
画面がちらつく（上記以外の場合）	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P18
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P30
	● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「画面調節」の「位相」を選択し調節してください。	P19
	● OSD 画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P12, 24

案内画面／注意画面が表示されたら…

症　状	原　因	対　処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された※1 VIDEO INPUT D-SUB NO SIGNAL	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。	P12
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	電源ランプが橙色に点灯している場合は、コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P25
画面に「OUT OF RANGE」が表示された※2 VIDEO INPUT D-SUB OUT OF RANGE	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P24
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P24

※ 1 コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。
※ 2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症　状	原　因	対　処	参照
解像度や色数が変更ができない／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	P24
	Windows®をご使用の場合は、Windows®セットアップのインストールが必要な可能性があります。	Windows®セットアップ情報を当社ホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P16
	Windows®セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、または Windows®以外の OS　をご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーが OS に正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	
スピーカーから音が出ない	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	正しく接続されているか確認ください。	
	ヘッドホンがつながっている場合スピーカーから音は出ません。	ヘッドホンを外してください。	P13
	音量が最小になっている。またはMUTE(消音)機能が働いている可能性があります。	OSDメニューの「◁♬」で音量を調節、または「MENU」ボタンか「◀/▶」ボタンを押してMUTE をOFFにしてください。	P19

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい製品の開発と常に最新のISOやTCOの標準に従って行動するよう努力しています。当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社インターネットホームページをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/env.html

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお申し込みは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
TEL 03-3455-6107 www.pc-eco.jp	TEL 03-3455-6106 www.diarcs.com
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00 ～12:00 午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

個人で、ご購入いただいたお客様のPCリサイクルシール申込

下記のリサイクル窓口ホームページより､お申し込みいただければ ”PCリサイクルシール” を無償でお送りいたします。

リサイクル窓口ホームページ；
www.pc-eco.jp

画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。

ご注意：
法人（事業者）のお客様で、ご購入頂いた三菱ディスプレイは、PCリサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。

保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。
  保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
  内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
  日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
  This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

技 術 相 談 窓 口（携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可）	修 理 相 談 窓 口（携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可）
フリーダイヤル　0120-71-3322	フリーダイヤル　0120-08-1460
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00 ～ 12:00　午後1:00 ～ 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

- **お名前**
- **ご住所（付近の目標など）**
- **電話番号**
- **品名：三菱液晶ディスプレイ**
- **形名：RDT201WLM / RDT201WLM（BK）**
- **製造番号（本機背面のラベルに記載）**
- **故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）**
- **使用状況**
  （PCおよびグラフィックボード（メーカー，形名）、解像度、入力信号（アナログ，デジタル）など）
- **購入年月日または使用年数**

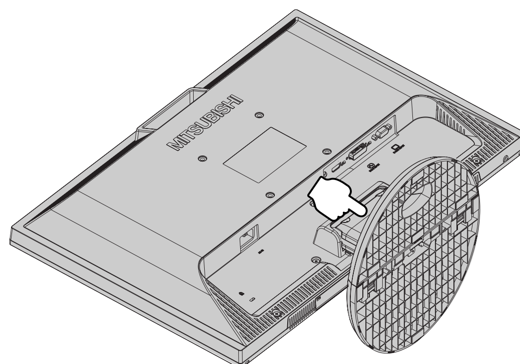
- 無料出張サービス規定
  この製品をお買上げから1年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット(現品とは異なる場合があります。）を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

個人情報の取り扱い

- お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
  三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
  1. お問合せ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
  2. 上記利用目的のために、お問合せ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
  3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
     ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
     ② 法令等の定める規定に基づく場合。
  4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

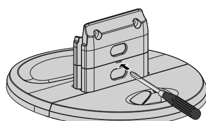
再梱包するとき

再梱包の際は次の手順でスタンドを取り外してください。
水平な机の上に本体表示部が下になるように置いてください。
図のようにブロックネック背面の最上部ロックボタンを指で
押しながらスタンドを分割してください。
取外したスタンドは、ベーススタンド部とブロックネック部に
分割して再梱包してください。



お知らせ

容易に引き抜けない場合は、ブロッネック背面の凹穴に
マイナスドライバーを差し込んで分離させてください。



⚠ 注意

表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無いことを確認し表示部
を傷つけないように注意してください。
つめを外す際に指をはさまないように注意してください。

お 願 い

● 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷つけないようにしてください。

市販のアームを取りつけるとき

本機にはVESA 規格に準拠した（100 mmピッチ）市販のアームを取りつけることができます。

お 願 い

● アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約4.5kgです。）

お知らせ

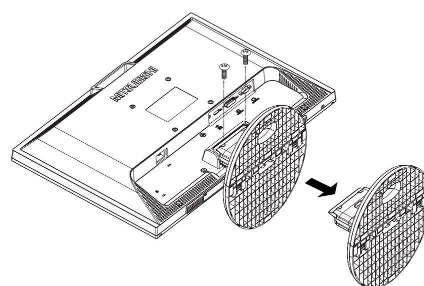
● 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

■ アームを取りつける際は、下記要領で取りつけてください。

1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源ケーブルを取り外してください。
その後、本体側のスタンドネックを取りつけている2本のネジを取り外し、スタンドを引き抜いてください。

お 願 い

● 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷つけないように下向きに置いて行ってください。

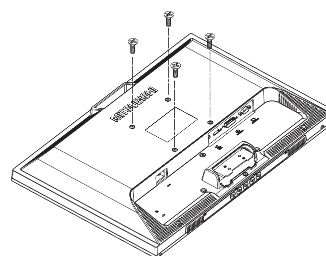


【スタンドの取外し】

2 アームを取付ける前にVESA穴の4本の化粧用の皿ネジを取り外してください。

お 願 い

● スタンドを取りつける場合は、逆の手順でおこないます。
その際は必ずスタンド取りつけに使用していたネジを使ってください。
仕様の異なるネジを使用されると本機が故障する原因になる恐れがあります。
● ネジを締めつける際はつけ忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締めつけてください。
なお、スタンドの取りつけはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。



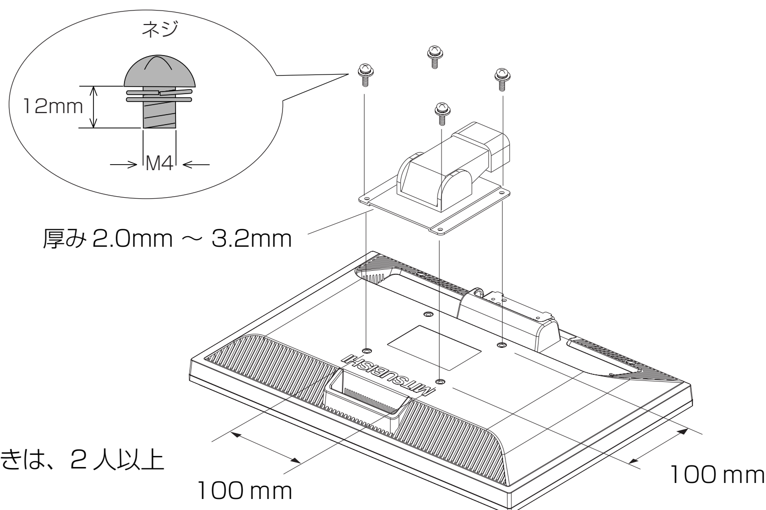
【VESA穴ネジの取外し】

アームの取り付け方

3 **下記のようにアームを取り付けてください。**

取付可能アーム：
　取付部厚み 2.0mm ～ 3.2mm
　VESA 規格準拠 100 mmピッチ

ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めてください。（ただし、締めつけすぎるとネジがこわれることがあります。98 ～ 137N・cm が適切な締付トルクです。）



※　上記アームの取付部形状は参考例です。

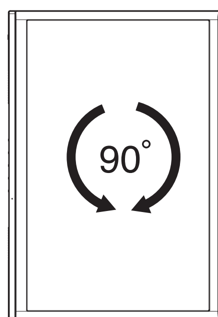
⚠ 注　意

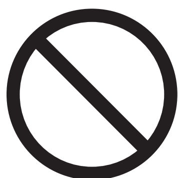
落下防止のために

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2 人以上で取りつけ作業をおこなってください。
  落下してけがの原因となります。
- 取りつけ作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
  また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談ねがいます。
  万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取りつけはお客様の責任においておこなってください。
  万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

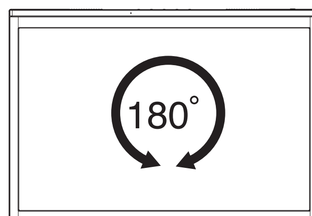
火災や感電防止のために

- アームを取りつける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。
  それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。
  緩み止めスプリングワッシャ付き M4 ネジ（長さ 12-14mm）
- アームを取り付けてご利用される場合でも、90°回転や 180°回転した状態でご使用しないでください。
  内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。





禁止



用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

2系統入力　　P12
2台のコンピューターを接続するための入力端子を2つ準備していることを表します。

DDC 2B 規格（Display Data Channel）　　P25
VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI 規格（Display Data Channel / Command Interface）　　P21
ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DPM（Display Power Management）　　P25
VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DVI-D端子（Digital Visual Interface-Digital）　　P2, 8,11,12
デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-I端子（Digital Visual Interface-Integrated）　　P2,11,12
デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子です。どちらかの入力を接続するケーブルあるいは変換アダプターによって使い分けが可能となります。

Plug&Play　　P25
Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB 規格　　P19
IEC(International Electrotechnical Comission)により規定された色再現国際です。sRGB対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもし易くなります。

VESA 規格（Video Electronics Standards Association）　　P25, 31, 35
ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相　　P19
アナログ映像信号のA/D変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

国際エネルギースタープログラム　　P3, 35
デスクトップコンピューターの消費電力を節減するために、米国の環境保護局（EPA：Environmental Protection Agency）が推し進めているプログラムのことです。

応答速度　　P35
表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ（追従性）のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。応答速度は黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計です。

輝度　　P35
単位面積あたりを表示する明るさを示す度合いのことで、数値が高いほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比　P35
白と黒の明るさの比率を示す比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

残像　P6, 27
残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角　P27, 35
斜めから見た場合など、正常な画像が見られる角度（白と黒のコントラスト比が 10 以上に表示できる角度）のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像が見られます。

水平周波数／垂直周波数　P24, 35
画面に表示される画像データは、走査線と呼ばれる線が集まって構成されています。
水平周波数：1 秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数 31.5kHz の場合、1 秒間に水平線を 31,500 回表示するということです。
垂直周波数：1 秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が 60Hz の場合、1 秒間に画面を 60 回表示書き換えているということです。

チルト角度　P15, 35
ディスプレイ画面を前後に動かせる角度のことです。

ノータッチオートアジャスト／ NTAA（No Touch Auto Adjust）P25
コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を最適な状態にする機能です。

パワーマネージメント機能　P25
コンピューターを使用しない時に本機の消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度　P24, 35
一般的には「解像度」と呼ばれています。1 画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

付
録

仕様

形名			RDT201WLM / RDT201WLM (BK)
液晶パネル			TN型・表面処理：ノングレア（反射防止）
サイズ（表示サイズ）			20.1型（51.1 cm）
有効表示領域			433.4 × 270.9mm
表示画素数 ※3			1680 × 1050
画素ピッチ			0.258mm
表示色			約1677 万色
視野角（標準値）※1			左右160°、上下160°（コントラスト比10）
輝度（標準値）			250cd/m^2
コントラスト比（標準値）			900：1
応答速度			5msec
PC入力	水平周波数		31.0 ～ 82.3kHz
	垂直周波数		56 ～ 76Hz（ノンインターレース）
	ビデオ信号		アナログRGB、デジタルRGB
	同期信号		セパレート同期信号（TTL）
	信号入力コネクター		DVI-D(HDCP対応)、ミニD-SUB15 ピン
音声入出力	入力コネクター		Φ3.5ステレオミニジャック
	スピーカー		1W+1W（ステレオ）
	ヘッドフォン		Φ3.5ステレオミニジャック
適合規格等 ※2	省エネルギー基準		国際エネルギースタープログラム
	安全		UL60950-1、c-UL
	エルゴノミクス		ISO13406-2（準拠）、TCO'03
	不要輻射		VCCI-B、FCC/DOC、CE、低周波電磁界ガイドライン、MPRIII
	環境		PCグリーンラベル（2008年度版）、グリーン購入法、J-Moss
	プラグ&プレイ		VESA DDC2B
	その他		DDC/CI, Windows® XP, Windows Vista® Premium
使用環境条件	温度		5 ～ 35℃
	湿度		30 ～ 80%（結露のないこと）
電源	電源入力		AC100-240V　50/60Hz
	消費電力	標準	30W
		省エネモード	スリープモード時：2W 以下、オフモード時：1W以下
	電源入力コネクター		3P IEC タイプ
質量			約4.8kg（スタンドなし約4.5kg）
梱包状態（質量/寸法）			約5.9kg ／ 560（W）× 410（H）× 140（D）mm
チルト角度 / スイーベル角度 / ブロック高さ調節			上20°、下5° ／機能無し／1段（30mm／段）
外形寸法			単位：mm 471.9　318.5　200　75.4　60.9　371.7　230　VESA穴（4-M4）　100　54.9　100　MITSUBISHI

【ミニ解説】お知らせ
※1　視野角：白と黒のコントラスト比が10以上に表示できる角度を示します。
※2　本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。
※3　本機は、解像度1680x1050以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

お買い上げいただいた本製品はスウェーデンの労働団体(TCO)が定めた環境規格TCO '03ガイドラインに適合しています。TCO '03ガイドラインは、画面品質、環境保護、低周波漏洩電磁界、安全性、省電力、リサイクル性等、広い分野にわたって規定しています。以下の英文は、TCOが適合製品に英文で添付することを定めた環境文書で、TCO '03ガイドラインの目的および環境要求の概要を記述しています。

TCO Development



Congratulations!

The display you have just purchased carries the TCO'03 Displays label. This means that your display is designed, manufactured and tested according to some of the strictest quality and environmental requirements in the world. This makes for a high performance product, designed with the user in focus that also minimizes the impact on our natural environment.

Some of the features of the TCO'03 Display requirements:

Ergonomics

- Good visual ergonomics and image quality in order to improve the working environment for the user and to reduce sight and strain problems. Important parameters are luminance, contrast, resolution, reflectance, colour rendition and image stability.

Energy

- Energy-saving mode after a certain time - beneficial both for the user and the environment
- Electrical safety

Emissions

- Electromagnetic fields
- Noise emissions

Ecology

- The product must be prepared for recycling and the manufacturer must have a certified environmental management system such as EMAS or ISO 14001
- Restrictions on
  - chlorinated and brominated flame retardants and polymers
  - heavy metals such as cadmium, mercury and lead.

The requirements included in this label have been developed by TCO Development in cooperation with scientists, experts, users as well as manufacturers all over the world. Since the end of the 1980s TCO has been involved in influencing the development of IT equipment in a more user-friendly direction. Our labelling system started with displays in 1992 and is now requested by users and IT-manufacturers all over the world.

For more information, please visit
www.tcodevelopment.com

FCC Information

1. Use the attached specified cables with this equipment so as not to interfere with radio and television reception.
   (1) The power supply cord you use must have been approved by and comply with the safety standards of U.S.A.,
   (2) Please use the supplied shielded video signal cable. Use of other cables and adapters may cause interference with radio and television reception.

2. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
   · Reorient or relocate the receiving antenna.
   · Increase the separation between the equipment and receiver.
   · Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
   · Consult your dealer or an experienced radio/TV technician for help.

3. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity

This device complies with Part 15 of FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions. (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

.

U.S. Responsible Party:	**Mitsubishi Digital Electronics America, Inc.**
Address:	**9351 Jeronimo Road,**
	Irvine, California 92618 U.S.A.
Tel. No.:	**+1-(949)465-6000**
Type of Product:	Display Monitor
Equipment Classification:	Class B Peripheral
Model:	RDT201WLM(AE755)
	RDT201WLM(BK)(AE755)



We hereby declare that the equipment specified above conforms to the technical standards as specified in the FCC Rules.

付録

さくいん



本社　〒100-8310　東京都千代田区丸の内2丁目7番3号（東京ビル）

AW-P0441A